

## 古来布を使用した『御守り袋』の提案

古来から、神社の御祭神や御寺様の御本尊が宿るとされるお守りは、人の心を安心させ、よりどころにもなる尊いものです。

古くを振り返ってみると、20世紀まで、世界の神官や法衣の素材は、大麻の布が尊ばれてきました。大麻の効能と素晴らしさが古代より語り継がれた結果です。

このたび千年の昔にさかのぼり、大麻素材を古来の草木染色の内容に合わせ染色したお守り袋を作成してみました。この袋は形を変えて箸袋にもなります。



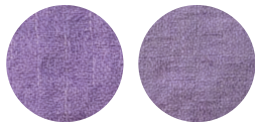
糸の番手糸を変えたドビー織りです。社会と経済を緯糸に、個人の健康と発展の願を経糸に織った布。



冠位12階を参考に草木の染料を使用し、堅牢性を守るため、媒染剤では無く、化学染料を3%まで色素を守る金属として使用した、新しい染色法で仕上げました。



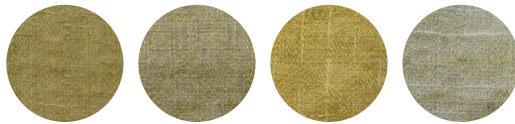
**古代紫** ●紫根染料 ●高い志と国を愛する心をもち、社会の中で力を発揮する。



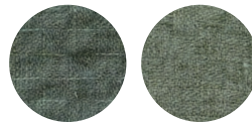
**朱** ●貝殻虫 [ラック] ●生命を守り、生まれ変わる力を持つ。情熱があり尊ばれる。



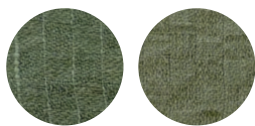
**黄信** ●黄金花 ●お金に苦労しない。健康で明るい人気を得る。



**緑黒** ●松葉 ●知恵を生み正しい力を得る。社会を司る地位を得る。



**緑乙** ●よもぎ ●健康を守る。努力を惜しまない。多数の人に好かれる。



**緑青** ●熊笹 ●崇高な志をもち官職につく。健康と知恵を授かる。

